



稚魚を放流する温泉小の児童たち

洞 湖 漁 業
組合が毎年実施しているヒメマスとヤマベ放流が、5

月15日とうや小学校と洞爺湖温泉小学校の児童をそれぞれ招き行われました。

湖の豊かな自然にふれてもらおうと毎年実施しているもので、今年は、各小学校で4、5ヶ所に育った稚魚合わせて約4万匹を放しました。

洞爺湖温泉小学校では、1、2年生13人が参加し、同小近くの湖畔で実施されました。児童らは、プラスチック製のコップに移し替えた稚魚を「大きくなってね」と声をかけながら放流。3、4年後の成長を楽しみにしていました。

「大きくなってね」 洞爺湖のマス放流

児童らゲームに歓声 あそびフェスタ

いろいろな遊びを楽しもうと「あそびフェスタINとうや湖（とうや湖レクリエーションクラブ主催）が、5月25日母と子の館体育館で行われ、約20人の児童が参加しました。

始めに英国青年のブレンダンさん、ジェームズさんと英語指導助手のジェレミーさんによる英語と日本語による絵本の読み聞かせを実施。

引続き、全員で手をつないでいっしょにジャンプしたり、



みんなで足を合わせて歩くムカデ競走

ムカデ競走やおにごっこ、カラーゲームなど盛りだくさんの遊びメニューを楽しみ、体育館に歓声が響きわたっていました。

箱根町議会議員が来町 変わらぬ友好を確認

5月15日、姉妹都市の箱根町から町議会議員の有志の皆さんが、親善交流と観光振興の研修を目的に、2泊3日の日程で当町を訪問しました。来町したのは、折橋尚道町議会議長をはじめとする10人。

防災研修ホールで行われた歓迎式では、当町の千葉町議会議員、真屋町長が歓迎の挨拶を行い、それに応えて箱根町の折橋議長が挨拶をしました。引続いて、両町の議員の自己紹介などが行われ、今後の変わらぬ友好を確認しました。



交流を図る歓迎式

翌日一行は、登別市を訪れ、外国人観光客への方策などを研修し帰路に着きました。



真屋町長から記念の木刀を贈る

5月15日奈良県の天理中学校が、初めて洞爺湖町を修学旅行で訪れ、宿泊先のホテルで町主催の歓迎セレモニーが行われました。天理

教では、過去2度の有珠山噴火時に災害救援ひのきしん隊を派遣し、復旧復興を支援。引続き現在もツーデーマーチのコース整備や緑化活動などつながりを深めています。

歓迎式では、真屋町長が「北海道を堪能してってください」と歓迎の挨拶を行い、特製の「洞爺湖木刀」を贈りました。生徒を代表し、木下こころ生徒会長が「一生の宝物を見つけていきたい」とお礼の言葉を述べました。

修学旅行で初訪問 町が歓迎セレモニー開く